

わたしたちが「いつまでもこのまちで暮らしたい」と望むとき、そこには住み慣れた場所があり、知っている人がいて、安心できる環境があると思います。

そうした望みが叶えられるようにわたしたち三次市社協は、住民一人ひとりのよりよい出会いとつながりを創る場面をつくりながら、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指しています。

皆様からお預かりする会費は、福祉教育やボランティア事業、はるかぜネットなど、三次市社協が進めている様々な活動を行うために使わせていただいております。

また、市内の各地区に設置されている地区社会福祉協議会の活動にとっても重要な財源となり、皆様のより身近なところで地域福祉の充実に活かされております。

急激に進む少子高齢社会に向かって三次市社協の基盤を強化し、福祉事業をより充実させていくため、個人・団体等の皆様方に会員として三次市社協をご支援くださいますようお願いいたします。

## ■会員の区分

一般会員(各世帯)	年額	500円
賛助会員(個人・団体等)	年額	1,000円
特別会員(個人・団体等)	年額	5,000円

## ■会員のお申し込み

会員のお申し込みは、口座振込み又は直接市社協本所及び支所までお願いいたします。

※一般会員については、各町内会・自治会を通じてご協力をお願いしております。

## ■会費で行われている事業

### ○地区社会福祉協議会の活動支援

身の回りでおきている福祉問題を共に考え解決していこうと、現在65地区社協が設置されています。高齢者の集いや子育て中のお母さんと乳幼児の活動など、地域の人たちの輪が広がるような活動を展開していきます。福祉のお祭りなどもその一つです。

### ○広報啓発事業

福祉を身近な活動とするために広報誌「みよし社協だより」の発行や福祉啓発イベント、社会福祉大会の開催などの広報活動を行なっています。

### ○はるかぜネット

公的なサービスでは十分に対応できない限定的、緊急的、突発的なニーズや利用者のQOLにスポットを当てたニーズ等にきめ細かく対応していくために、住民さんの住民参画(互助)によるサービスを提供しています。

### ○ボランティアセンターの運営

ボランティア活動への参加促進を図るため、各種相談、連絡調整、ボランティア情報誌による啓発事業や参加型のイベントを企画しています。

### ○福祉教育の推進

豊かな心をはぐくむために、子供達とご年配の方とのふれあいや障害を持つ人への理解やコミュニケーションを図る機会を作っています。学校での福祉教育をはじめ、校外活動としての小・中・高校生のボランティアスクールや夏休み福祉体験を実施しています。

### ○ふれあい福祉相談事業の推進

家庭内外での感情のもつれや対人関係、人生の悩みやご心配事など福祉分野に限らずあらゆる相談を受けています。